

主要事業評価シート(第2次実施計画/R1・2・3年度)

① 基本事項	計画コード	事業名	部名	建設部	
	17003	亀山駅周辺整備事業	課名	都市整備課 亀山駅前整備G	
	施策の大綱	01:快適さを支える生活基盤の向上	財務科目	会計	01:一般会計
	基本施策	01:都市づくりの推進		款	08:土木費
	施策の方向	02:活力ある市街地の形成		項	04:都市計画費
戦略プロジェクト	03:「JR亀山駅周辺拠点力向上」プロジェクト	目		01:都市計画総務費	
事業予定期間	H 28 ~ R 4 年度	主な根拠法令要綱等	都市計画法、都市再開発法、都市再生特別措置法		

② 目的・概要	対象	市民
	目的	市の玄関口であるJR亀山駅周辺の再生を進めることで、駅周辺のにぎわいづくりと活性化、利便性及び安全性の向上を図る。
概要	JR亀山駅周辺のにぎわいづくりと活性化に向け、地域とともに駅周辺の再生に取り組む中、平成27年度に策定した亀山駅周辺市街地再開発推進計画に基づき、JR亀山駅周辺の整備を進める。	

③ 事業の計画・実績	年度計画	令和元年度		令和2年度		令和3年度	
		○2ブロック地区市街地再開発事業 ・補助金(除却・解体) ・公共施設管理者負担金 [駅前広場、亀山駅前線](補償等) ○市道御幸7号線道路整備事業 ・用地測量、補償算定 ○市道御幸1・6号線道路整備事業 ・詳細設計、用地測量 ○駐輪場整備事業 ・用地買収 ○亀山駅周辺まち協支援業務	○2ブロック地区市街地再開発事業 ・補助金(共同施設整備) ・公共施設管理者負担金 [駅前広場、亀山駅前線](工事等) ・補償(電柱移転) ○市道御幸7号線道路整備事業 ・用地買収、建物等補償 ○市道御幸1・6号線道路整備事業 ・用地買収、補償算定 ○亀山駅周辺まち協支援業務 ○費用便益分析業務	○2ブロック地区市街地再開発事業 ・補助金(共同施設整備) ・公共施設管理者負担金 [駅前広場、亀山駅前線](工事) ○駅前広場整備事業 ・工事(シェルター、案内板等) ○市道御幸7号線道路整備事業 ・工事、用地買収、建物等補償 ○市道御幸1・6号線道路整備事業 ・工事、用地買収、補償等 ○駐車場、駐輪場、バスバース整備事業 ・工事、用地買収 ○亀山駅周辺まち協支援業務			
年度実績	○2ブロック地区市街地再開発事業 ・補助金(補償等) ・公共施設管理者負担金 [駅前広場、亀山駅前線](補償等) ○市道御幸7号線道路整備事業 ・用地測量、補償算定 ○市道御幸1・6号線道路整備事業 ・詳細設計、用地測量 ○亀山駅周辺まち協支援業務	○2ブロック地区市街地再開発事業 ・補助金(除却・解体、共同施設整備) ・公共施設管理者負担金 [駅前広場、亀山駅前線] (補償、工事) ○市道御幸1・6・7号線整備事業 ・用地買収、建物等補償 ○亀山駅周辺まち協支援業務 ○費用便益分析業務	○2ブロック地区市街地再開発事業 ・補助金(共同施設整備) ・公共施設管理者負担金(工事) ○駅前広場整備事業 ・工事 ○市道御幸1・6・7号線整備事業 ・工事、用地買収、建物等補償 ○駐車場、駐輪場、バスバース整備事業 ・工事、用地買収 ○亀山駅周辺まち協支援業務				
	事業費	事業費	399,400千円	1,011,900千円	1,576,000千円		
国庫支出金		175,340千円	500,890千円	775,570千円			
県支出金							
地方債		150,400千円	409,000千円	667,800千円			
その他							
一般財源		73,660千円	102,010千円	132,630千円			
事業費		1,506,935千円	657,506千円	1,168,460千円			
国庫支出金		769,147千円	301,142千円	616,742千円			
県支出金							
地方債		490,750千円	232,400千円	483,900千円			
その他							
一般財源		247,038千円	123,964千円	67,818千円			
事業費 ①	1,461,644千円	632,919千円	1,168,362千円				
国庫支出金	769,147千円	297,568千円	585,810千円				
県支出金							
地方債	490,750千円	230,500千円	470,000千円				
その他							
一般財源	201,747千円	104,851千円	112,552千円				
総人件費 ②	31,396千円	39,195千円	39,515千円				
一般職員	31,396千円	39,195千円	39,515千円				
所要人員	4.00	5.00	5.00				
会計年度任用職員等	0千円	0千円	0千円				
総コスト(①+②)	1,493,040千円	672,114千円	1,207,877千円				
受益者負担率	0.0%	0.0%	0.0%				

		令和元年度	令和2年度	令和3年度
④ 指標	① 名称 事業進捗状況(2ブロック) 2ブロック市街地再開発事業の進捗状況	計画値 権利変換計画認可 実績値 権利変換計画認可 単位	2ブロック施設建築物着工 2ブロック施設建築物着工	2ブロック施設建築物工事 2ブロック施設建築物工事
	② 名称 事業進捗状況(市道御幸7号線) 市道御幸7号線道路整備事業の進捗状況	計画値 用地測量補償算定 実績値 用地測量、補償算定 単位	用地買収建物等補償 用地買収、建物等補償	用地買収、建物等補償、工事 用地買収、建物等補償、工事
	③ 名称 事業進捗状況(市道御幸1・6号線) 市道御幸1・6号線道路整備事業の進捗状況	計画値 詳細設計用地測量 実績値 詳細設計、用地測量 単位	用地買収建物等補償 用地買収	用地買収、建物等補償、工事 用地買収、建物等補償、工事

⑤ 事業の改善	【前回評価の対応方針の概要を記入】 組合や事業推進コーディネータと密に連携を図るとともに、組合員との協議や工事等実施など、組合への支援を継続して行っていく。亀山駅周辺整備事業の全体計画を明確にするため、亀山駅周辺まちづくり協議会と連携し、権利者等との協議を密に行うとともに、プロジェクトチームを通して1~4ブロック及び周辺地域と連携した具体的な整備方法についても具体的に整理していく。また、組合等と連携し、市及び組合ホームページ等を活用した情報発信を随時行っていく。
	【前回評価の対応方針を踏まえ、どのような措置を講じたか】 組合やコンサルタント、施工者との協議を適宜実施することで令和2年度より着工した施設建築物新築工事及び公共施設工事を推進することができた。また、亀山駅周辺まちづくり協議会の役員会(2回)及びブロック会議を実施することで、1・3・4ブロック及び周辺地域における土地利用計画の検討を進めた。

		評価	(判定)
⑥ 事業の評価	活動	【計画どおりに実施できたか】 組合に対する支援を実施することで、令和2年度より着工した公共施設工事及び施設建築物新築工事を推進することができたが、工事に伴う組合員等とのプラン検討や関係機関との協議に時間を要したことから、当該年度実施予定の工事内容を全て完了することはできなかった。一方で、令和2年度繰越分を超えて工事進捗があったことから、当該年度の補助金交付決定や工事前払金の支払い等を年度内に完了した。また、1・3・4ブロック道路(市道御幸1・6・7号線)の用地買収や補償等については、国の交付金の予算内示に沿った補償等契約を計画通りに実施できた。また、工事についても契約締結し、着工した。	B まづまづ実施できた
	成果	【成果は順調に上がったか】 工事等の推進や市街地再開発事業等の補助金の交付決定等、駅周辺のにぎわいや活性化に向け、事業を推進することができた。	B まづまづ成果を得た

⑦ 今後の対応方針	課題	【課題は何か】 次年度が事業最終年度であることから、工事の早期完了及び解散手続きに向け、組合への支援を継続していく必要がある。また、亀山駅周辺整備事業の全体計画を明確にするため、過年度に実施した事業者等への需要調査や空地状況調査の結果を踏まえ、1~4ブロック及び周辺地域における整備計画を権利者等とともに整理する必要がある。さらには、事業内容や進捗状況について、市及び組合のホームページ等を活用し、積極的に情報発信を行っていく必要がある。	次期実施計画への方向性 【その他の場合、その内容を記載】
	対応	【課題に対し、どのように対応するか】 組合や事業推進コーディネータと密に連携を図るとともに、組合員との協議や工事等実施など、組合への支援を継続して行っていく。亀山駅周辺整備事業の全体計画を明確にするため、亀山駅周辺まちづくり協議会と連携し、権利者等との協議を密に行い1~4ブロック及び周辺地域と連携した具体的な整備方法について整理する。また、組合等と連携し、市及び組合ホームページ等を活用した情報発信を随時行っていく。	
	効果	【対応することで、どのような効果が期待できるか】 本事業による市街地再開発事業の実施や公共施設の整備により、本市の中心的都市拠点である亀山駅周辺の利便性と安全性が向上するとともに、にぎわいの創出が図られる。	
対応時期		令和4年度	

【1次評価者】	建設部 都市整備課 亀山駅前整備グループリーダー 谷 徹
【最終評価者】	建設部 都市整備課長 藤尾 春樹

(参考:前期基本計画期間(H29-R3)における評価履歴)

		H29	H30	R1	R2	R3
判定	活動	B	B	B	B	B
	成果	B	B	B	B	B

■令和3年度予算額(事業費)の内訳

予算額(事業費)		1,168,460 千円
内訳	令和2年度からの繰越額	722,475 千円
	令和3年度の最終予算額	1,563,000 千円
	令和4年度への繰越額	▲1,117,015 千円